

(様式)

令和8年度 女子バレーボール部の指導方針等について

令和8年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	峯岸 里沙	橋本 柑花	本校卒業生	月1～2
副顧問	小田嶋 大暉			
副顧問	福田 智之			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標を達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
東京都ベスト16、関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
近隣の中学校と交流し、技術指導や中学校大会運営に貢献する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は原則、平日4日、土日祝日は不定休とし、練習時間は公式戦の時期や生徒の体調を考慮した適正と思われる時間を設定する。モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に3～4回程度、競技力を高めるため強豪チームなどと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップをとり、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4 5 6 7 8	生徒会部活動紹介 部活動保護者会（指導方針等を説明） 高体連春季大会兼関東大会東京都予選 高体連インターハイ東京都予選 夏季合宿健康診断 中学生部活動体験入部 夏季休業中 練習及び練習会 夏季合宿（山梨県南都留郡山中湖平野 3泊4日） 中学生部活動体験入部 8ブロック大会 高体連夏季大会
2 学期	9 10 11 12	東京都高体連主催技術練習会 高体連新人選手権大会 冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習 8ブロック大会
3 学期	2 3	東京都公立高校大会 部活動保護者会（年間の活動の振り返りと次年度への反映） 近隣の中学校大会競技の運営補助 春季休業中 練習及び練習試合 8ブロック大会